

2017年11月24日

報道関係者 各位

会社名 レーザーテック株式会社
東証第1部コード6920
代表者名 代表取締役社長 岡林 理
発表担当 経営企画室 室長 浅井 浩志

Photronics社より第10.5世代用FPDフォトマスク欠陥検査装置 CLIOS G1001A、ペリクル検査/貼り付けシステム 71PA CM/PP、およびFPDマスクブランクス欠陥検査装置LBIS L1052を受注

レーザーテック株式会社は、この度Photronics社より第10.5世代用のFPDフォトマスク欠陥検査装置 CLIOS G1001A、ペリクル検査/貼り付けシステム 71PA CM/PP、およびFPDマスクブランクス欠陥検査装置 L1052を受注しました。Photronics社は、半導体からスマートフォンやタブレット端末に代表される高精細ディスプレイおよび4K・8K用の高解像度大型テレビ用までカバーするフォトマスク製造の世界的なリーディングカンパニーです。

近年、FPD業界では高精細有機ELディスプレイや大型液晶テレビへの対応が急務となっており、フォトマスクの回路パターンの微細化と大型化が急速に進展しています。特に、中国においては大型FPD工場への投資が相次いでおり、今回Photronics社で採用が決定した装置は、同社の中国マスク製造工場に納入される予定です。

納入予定の検査装置群は、レーザーテックが30年以上培った大型フォトマスク検査技術のノウハウをベースに、半導体マスクの最先端欠陥検査技術も採用しています。さらに、SECS/GEMによる検査のオートメーション対応や、ペリクル貼り付け作業をマスク検査直後のクリーン環境下においてリモート操作で実施する事も可能になっています。これら検査装置により、10.5世代用の大型フォトマスクであっても、高感度かつ高スループットな欠陥検査を実現し、マスクへの異物付着リスクを最小化する事が可能です。

FPD業界における多数の導入実績と量産運用の経験により、設備の垂直立上げと高稼働率を維持する事で、お客様の収益向上に貢献します。さらに10.5世代用マスクブランクス欠陥検査装置LBISは、マスクブランクスの品質を高速で確認する事ができ、マスク生産の歩留まり向上に大きく寄与します。

レーザーテックは、今後も検査技術の開発により一層力をそそぎ、高品位フォトマスクの開発及び生産に貢献してまいります。

以上

◇お問い合わせ先◇

〒222-8552 横浜市港北区新横浜 2-10-1

レーザーテック株式会社 第3ソリューションセールス部 樋口 剛史

TEL:045-478-7337 FAX:045-478-7333 E-mail: sales@lasertec.co.jp